

hap·py

→ go

→ luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におくるブックガイド。

はぴ 44 号



2019年4月発行

【編集】はぴ編集委員会

【発行】さいたま市立中央図書館

浦和区東高砂町 11-1

TEL 048-871-2100

FAX 048-884-5500

<https://www.lib.city.saitama.jp/>

QR コード



花ヲ読ム





『空に咲く恋』

福田 和代 作 文藝春秋 2017年

花火師の息子である三輪由紀は、女性アレルギーを患った草食系男子。そのせいで恋愛も就職活動も諦め、現実逃避の旅に出してしまう。放浪の末にたどり着いたのは、新潟県の小さな集落・山古志。そこで平穏に生活していたある日、花火店の跡取り娘・清倉ぼたんと出会う。彼女にだけアレルギーが出ないことを不思議に思いながらも、花火を通して親睦を深めるうちに、由紀の心にある変化が起き・・・。

花火もひとも一期一会。ヘタレ男子の最初で最後の青春が始まる！

『トルとばらの城の寓話』

トールモー・ハウゲン 作 木村 由利子 訳 ポプラ社 2002年

「世界はとても広い あなたの思っているよりずっとずっと」

エルムが暮らす〈白い城〉は、〈果てなし庭園〉の真ん中にある。父さま陛下は、城と庭園がこの世のすべてで、外にはただ灰色の〈アラズの地〉があるだけだと言いつつ聞かせてきた。けれど、12歳になったエルムの前に謎の女性・レリアが現れてから、エルムの小さくとざされた世界は、城を覆うばらと共に広がっていき・・・。

おとぎ話のその後を描く、ちょっとふしぎな寓話的ファンタジー。



『花のふしぎ100』

田中 修 作 ソフトバンククリエイティブ 2009年

クイズです。大きい花を咲かせるには、植物に何をすればよいでしょうか？よく聞くのは「やさしい言葉をかけること」ですが、これは誤りです。実は「さわること」が重要なのです。さわられればさわられるほど太い茎に育ち、大きい花を咲かせるのだとか。

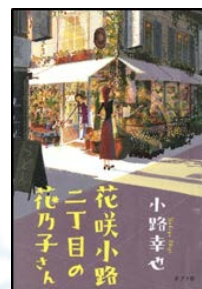
他にも、「世界一大きな花はどんな花？」「もしも花粉がなかったらどんな世界になる？」など、花についての面白い疑問100題を収録。この本を開けば、今まで知らなかった花のふしぎに出会えるはず！

『花咲小路二丁目の花乃子さん』

小路 幸也 作 ポプラ社 2015年

高校を中退し、「花の店にらやま」で働くことになったためい。店主の花乃子さんは、花を贈る人の特別な思いが分かる不思議な力を持っていた。そんなある日、ブーケを買いに来た男性に何かを感じ取った花乃子さんは、心を開くおまじないとして、錠前外しの薬草・ヴァーベナを仕込む。

花乃子さんが選んだ花と、花の不思議な力。そして、めいや「にらやま」にかかわる人たちのまっすぐな思いが紡ぎ出す、優しい物語。あなたも、花言葉の魔法を信じてみませんか。



『花言葉・花飾り』

フルール・フルール 編 池田書店 2010年

花言葉、あなたはいくつ知っていますか？バラは愛、チューリップは思いやり、ヒマワリは憧れなど、よく見る花の花言葉なら知っている人も多いでしょう。

この本は、ヨーロッパをはじめ世界中で親しまれている花言葉を、その由来とオシャレな花の楽しみ方を添えて紹介しています。さらに、花の持つパワーで運気を上げる花風水のコーナーも充実。

あなたの日常に癒しと元気を与えてくれる、一輪の花を探してみませんか。

『植物図鑑』

有川 浩 作 角川書店 2009年

呑み会帰りでほろ酔いのさやかは、マンションの玄関先で若い男・イツキを拾う。冬も終わりがけの時期に、一文無しで行き倒れていた彼から聞いた個人情報は名前だけ。うっかり情が移って始まった同居生活だが、家事が得意で植物オタクな彼と行く週末の「狩り」と、摘んだ草花を使った料理で二人の仲はどんどん深まっていく。

巻末にはイツキ特製レシピ付き。2016年に映画化され、読む・食べる・観るの3回楽しめる作品。





いろいろな 「花」を楽しもう

日本の「花」と言えば何でしょう？
有名なのは、やっぱり桜。でも、花火や花札だって、
日本の有名な「花」の一つです。
色々な花に詳しくなって、今日からあなたも花マスター！



「春の主役桜」

ゆのき ようこ 作 はやかわ しずの 早川 司寿乃 絵 理論社 2006年

毎年見ている桜のこと、案外知らないかも。桜前線や桜の生態、
日本全国の桜の名木などを分かりやすく めいぼく 紹介している絵本です。
この本で桜を学べば、今年の春はひと しょうかい 味違う！ ちが

『マンガで覚える図解花札の基本』

やまもと しげる 山本 茂 作 じけい 滋慶出版/土屋書店 2014年

「桜に幕」など札の名前から、「こいこい」や「花合わせ」などの
ゲームのルールや楽しみ方まで、この一冊で全部分かります。
初心者の人にも、もっと詳しくなりたい人にもおすすめ。



『花火の図鑑』

いずみ や げんさく 泉谷 玄作 作 ポプラ社 2007年

素材や構造、同じように見える花火の違い、屋間に打ち上げる
屋花火など、花火の知識がたくさん。ページ全体に印刷された綺
麗な写真と いっしょ 一緒に、あなたのお部屋で空の花を楽しみませんか？



今回は「花」にまつわる本をご紹介しました。

春は始まりの季節です。今まで触れてこなかった本を開くチャンス！



次回
予告

はぴ45号 (7月発行) のテーマは

青春

このブックガイドは2,000部作成し、1部あたりの作成費用は3円（概算）です。